

平成 29 年度 特別推薦入試試験問題（第二部商経学科）解答例

問 1（40 点）

【採点のポイント】

- ・ハード頼みによる問題点を的確に把握できているか。
- ・論理的に考えを記述できているか。

【解答例】

高速道路の開通で宿泊客も増えるだろうと思ってしまい、従来からある観光スポットや観光メニューの提供だけで大丈夫だと考えたことが問題だった。宿泊することでしか味わえない楽しみやサービスを新しく創造しなかったことが、宿泊客が日帰り客に変わってしまった原因だと考える。例えば、朝や夕方・夜にしか楽しめない観光メニューやイベントを工夫して創ったり、旅館やホテルが宿泊客でないと味わえない食事メニューやサービスを新しく開発するなどの工夫があればこのような状況は防げたと思われる。

問 2（60 点）

【採点のポイント】

- ・筆者が主張している「新しい価値」の創造に必要なだと考える取り組みを、具体的に記述できているか。
- ・論理的に考えを記述できているか。

【解答例】

私が地域づくり課の担当者なら、まず、観光客にとって現在どのような魅力が地域にあるのかを調査するところから始めたい。地元の住民は、案外その魅力についてあまり意識していないことも多いと思われるので、多くの住民に働きかけて新しい目で地域の魅力再発見の活動を行うことが重要だと考える。具体的には、住民にアンケートを実施したり、若者や地域外の人たちの力を借りて今まで気が付かなかった魅力を見つけるような活動である。

次に、こうして発見した地域の魅力を「新しい価値」として観光客のニーズに合ったものやサービス、イベントとして作りあげていく活動を行うことである。この活動には、さまざまな住民や地元企業、ボランティア団体など地域ぐるみでアイデアを出し合ってまとめていくことが大切だと思う。他の地域の成功例を視察してそのアイデアを参考にする活動も必要だろう。

こうした取り組みを進めていくために大事だと考えるのは、若者をこの取り組みに巻き込むことだと思う。若者の発想と感性も重要だと思うからだ。地元の若者だけでなく、地元出身で県外にいる若者にも声をかけ、新しい魅力を発見したり、魅力を創っていく活動に多くの若者が参加してもらえるような働きかけを行いたい。